

児童発達支援事業所における自己評価（公表）

公表：令和6年1月17日

事業所名 あゆっこ江津

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を 踏まえた改善内容又は 改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員と個人プログラムを行うスペースとの関係が適切であるか	4				
	2	職員の配置数は適切であるか		1	3	個別プログラムのため、職員が休む時には変わりの職員が対応している。	今後の事業の継続や拡大を考えると、増員が必要である。
	3	活動空間は本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	2		子どもの特性に合わせた環境作り、構造化に努めている。	建物内の構造が複雑であり、玄関から事業所までの道順表示が必要。また、子どもだけではなく様々な年齢・身体状況の方が利用する場所でもあるため、誰にでも分かる表示方法が良い。
	4	活動空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	4			部屋や玩具の使用後に清掃・消毒をしている。また、必要以上の玩具は収納し、スッキリとした空間の中で活動できるようにしている。	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4				
	6	保護者等向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			年に一度、事業所の評価をしてもらい、保護者の意向を把握し、改善に努めている。	
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			ホームページで公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	2		第三者による外部評価の実施を検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			必要な研修に積極的に参加できるように日程や体制の調整を行なっている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4				
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4				

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			一人ひとりに合ったプログラムを立てている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4				
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1		個人プログラムのため、立案は各担当が行ない、定期的にチームで内容の検討や困難事例の話し合い、助言等を行なっている。	
	15	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	4			子どもに合わせた活動プログラムを提示し、状況によってステップアップしている。	
	16	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	2		朝礼時に、職員間で、その日来園予定の人数や変更の確認をしている。	
	17	支援終了後には、職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	3		決まった時間を設けてはいないが、子どもの様子や保護者から聞き取った内容について、スタッフ間で共有している。	
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			保護者等からの聞き取りの中で得た内容を記録し、共有するようにしている。	
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			半年毎のモニタリングを行ない、支援の見直しをしている。	
	20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			サービス担当者会議には、担当者または児発管が参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4			必要に応じて、子育て機関と情報を共有している。	
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、地域の保健、医療、障害福祉、保育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	3			医療的ケアの必要な子ども等を支援している場合は、各関係機関と情報を共有し、連携した支援を行っていく。
	24	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	3			医療的ケアの必要な子ども等を支援している場合は、主治医や協力医療機関等と情報を共有し、連絡体制を整えていく。

関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や幼稚園、認定子ども園との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	2		必要に応じて、保育所等を訪問して子どもの様子を観察したり、情報共有を行ったりしている。		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1		就学移行支援として各就学先小学校へ引き継ぎを行ったり、必要に応じて小学校へ子どもの様子を見に行ったりして、情報の共有を図っている。		
	27	発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3		1			
	28	地域自立支援協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3		1		市が行なっている事業（巡回相談）へ参加している。	
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4				限られた時間ではあるが、活動後は必ず保護者と話をする時間を設け、活動の様子をお伝えしたり、園や家での様子、心配事などの話ができるようにしている。	
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	1	2	1		家族支援プログラムとしては行っていないが、保護者との話の中で、困った時の対応等について助言を行なっている。	
保護者への説明責任等	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4					
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4					
	33	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4					
	34	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4					
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1	1		事業所から保護者への伝達事項についてはその都度お便りで連絡している。事業所自体の会報等はないが、当センターの機関紙に参画し、発信している。	今後はQRコードやLINEを使用した連絡体制や情報発信を検討していく。
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4					

	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1		口頭だけではなく、見て分かるような配慮（メール等）をしている。	
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	1	事業所独自の行事はないがセンターの行事に参画している。	今現在は感染対策のため関係者以外の立ち入りを控えている。
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	1		3	各種マニュアルが策定されている。	マニュアルが策定されていることを周知するための方法としてQRコードやLINEの利用を検討していく。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	2	2		毎月避難訓練等を行なっているが、事業の性質上、参加は難しい状況にある。	
	41	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	3	1		初回利用の際のアセスメントで、子どもの状況を確認している。	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2		2	センター全体のヒヤリハット事例集が作成されている。	センター全体のヒヤリハット事例集を回覧し、情報の共有を図っていく。
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1		虐待防止委員会による定期的な研修に参加している。	